



看護師つれづれ日記①



入院する際のベッドの差額料金について考えることがあります。

病院によってベッドの差額料金は、まちまちで金額も一日何千円から何万円までいろいろあります。差額料金は病院の利益になるという話も聞いたことがあります。

入院するだけで、いろいろお金がかかります。その金額もいくらになるか予測不能なので少しでも節約したいところですから、差額ベット代は大きいですね。大体の方は差額ベット料金のかからない大部屋を希望しますが、大部屋が満室の場合、差額ベットが用意され、承諾書を書くこととなります。大部屋が空いてない為に仕方なく承諾書にサインされた方は多いのではないのでしょうか。

差額の部屋に入院しても、大部屋が空き次第大部屋に移してくれる病院もあります。しかし、入院して荷物を広げてしまふと移動が面倒になり（移動は病院スタッフがします）、このままでいいよとおっしゃる方もいらっしやいます。

いくつかの病院に入院した時、大部屋を希望しましたが、空いてません。ある病院では入院日数が短いからと、希望は

聞かれずに一日3万円の部屋を案内され、承諾書を書きました。

また、ある病院では病院の都合で大部屋が空いてないから差額代免除で個室に入院させてくれました。また、別の病院では治療上個室が必要なのでと差額代免除され、状態が落ち着いてから大部屋に移動しました。両方ともなんて良心的な病院でしょう。差額部屋も病院によってサービスは違います。ある病院ではタオルのサービスがあり、朝夕でタオル交換（ホテルと同じです）があり、シャワーが付いてました。別の病院では、ただの個室だけでした。入院する際、大部屋が空いてなかったら、交渉してみるのもいいかもしれません。

今では、入院中の食事も選択でき、和食洋食のほかに主菜の変更やパンの種類も選択できるようになっていきます。

また、付き添いの方の食事もあり、有名なお店にお弁当を頼めたり、病院の社員食堂から出前が用意されていたりといろいろなサービスがされていますが、もちろんプラス料金です。ホテルなみに歯ブラシや石鹸シャンプーなど容易されている病院も多くなってきました。ホテルではほとんどが追加料金なしのサービスですが、病院では基本のお金プラス追加料金が発生するサービスが多いような気がします。

病院という暗いイメージをなくして、入

院環境を少しでも快適に過ごしていただきたいという思いから考えられたものですが、ただでさえかかる入院費、追加料金でも受けたいサービスは？皆さんが病院に求める一番のサービスは何でしょうか。

話しやすいスタッフが居て、納得がいくまで説明してくれるドクターではないでしょうか。加算サービスの前に人的な環境が優れている病院に入院したいと思つてしまいます。

大学病院に長年勤務されている看護師さんにつれづれ疑問に思っていたことを書いていただきました。

治療の必要上個室を使ったのなら、個室が必要だった理由を医師が診断書で証明してくれば医療費控除の対象となります。救急車で、やっと運ばれた病院では、個室しかなか泣く泣く3万5千円の個室に入られ、それに介護の方をつけて毎日何万ものお金が消えてしまったと話される方もあります。

一旦、入院となったら病院の言われたとおりにしないと受け入れてもらえない。差額ベットの料金だけでなく、タオルのリース料などそのほかにかかる費用は病院の紹介ホームページにも記載されています。お金がないとおちおち入院できませんね。「医は仁術なり」は江戸時代から言われていますが、現状は「医は算術」のようです。